資料1-2

進捗管理シート（吉井川）

項目	事項	内容	状況	中国地整 実施内容	中国地整 時期	気象庁 実施内容	気象庁 時期	岡山県 実施内容	岡山県 時期	岡山市 実施内容	岡山市 時期	津山市 実施内容	津山市 時期	備前市 実施内容	備前市 時期	瀬戸内市 実施内容	瀬戸内市 時期	赤磐市 実施内容	赤磐市 時期	美作市 実施内容	美作市 時期	和気町 実施内容	和気町 時期	鏡野町 実施内容	鏡野町 時期	勝央町 実施内容	勝央町 時期	奈義町 実施内容	奈義町 時期	西粟倉村 実施内容	西粟倉村 時期	美咲町 実施内容	美咲町 時期
1)ハード対策の主な取り組み																																	
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																																	
	・流下能力対策（堆積土の撤去や樹木の伐採） ・堤防や拡幅等の整備 ・変状などが確認された箇所の速やかな修繕	実施状況	流下能力対策	R2年度			改良復旧など計23河川で河川改修事業を進めるとともに、県単独事業においても堤防や河道拡幅等の整備を実施 H30年7月豪雨によりさきな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施 堤防点検等を実施し、緊急の修繕が必要な箇所の対策を実施	発災後から随時（または非出水期）																								
		今後の予定	整備済	整備済			現在の取り組みを継続	継続実施																									
■危機管理型ハード対策																																	
	・堤防天端の保護 ・堤防表法肩の補強	実施状況	天端の保護	H28年度			優先順位の高い河川の合流点等において天端舗装を実施	R3年度																									
		今後の予定	整備済	整備済			現地の状況を踏まえ、個別に検討を行う	継続実施																									
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																																	
	・雨量・水等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	実施状況	事務所H P公開ライブカメラ（7箇所）整備済	整備済			危機管理型水位計等の増設 平成30年度～令和3年度で37箇所増設（吉井川水系 30箇所、旭川水系 12箇所、高梁川水系 19箇所、その他 36箇所）	～R2年度																									
		今後の予定	整備済	整備済			更なる増設については、水防活動や避難判断等において必要性が生じれば検討を行う	継続実施																									
	・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施状況							緊急告知ラジオを市有施設、町内会、自主防災組織などに配布 防災行政無線（アナログ、デジタル）、緊急告知ラジオ放送設備の改良 緊急告知ラジオの一般販売	H26～R1年度 R1～R2年度 R4年度 R5年度	合併旧町村においては、防災行政無線を設置 旧市域においては、緊急告知防災ラジオの無償配布を継続するとともに、販売事業を実施	R5年度	デジタル同報系防災行政無線の整備工事着手	R2年度～	消防庁にアドバイザーの派遣を要請 将来構想を策定 新防災情報伝達システムの運用開始	H30年度～R1年度 ～R3年度 R4年度～	実施済み FM無線中継局（緊急告知ラジオ用）の整備 移動系代替整備として、MCA無線機を導入 緊急告知ラジオ配布	H30年度 R1年度 R2年度 R2年度～	実施済み	H30年度	実施済み	H28年度		防災行政無線デジタル化施工済 移動系無線機（デジタル簡易無線機）の増台（30台→32台）	H29年度 R3年度	防災行政無線に加え、光電話による情報周知を運用中 防災行政無線機の故障対応	R2年度	雨量計増設・河川監視カメラ設置雨量計・河川監視カメラシステム更新と公開 河川監視カメラ赤外線照射装置設置・温度計設置および温度情報公開	R3年度 R4年度				
		今後の予定	整備済	整備済					緊急告知ラジオの一般販売 緊急告知ラジオを市有施設、町内会、自主防災組織などに配布	継続実施	事業継続	継続実施	事業継続 デジタル同報系防災行政無線の運用開始	～R4年度 R4年度～	情報伝達手段の整理・改良 多様な情報取得手段の普及啓発	継続実施	緊急告知ラジオの配備促進	継続実施	継続実施	継続実施	電波が不安定な地区に対して、IP電話などを配布する	継続実施			防災行政無線機の故障対応	継続実施	防災行政無線機の故障対応	継続実施	FM告知機の追加設置・故障対応	継続	町内告知放送設備（FM告知）の設置	継続実施
	・重要水防箇所の見直し	実施状況	令和2年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施（令和2年度の河川事業実施状況を踏まえた見直し等）	R5年度			令和3年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施（令和3年度の河川事業実施状況を踏まえた見直し等） （堤防点検結果や陸閘の適正化に伴う廃止等） 令和3年度にGISを活用した情報高度化の運用開始	～R5年度																									
		今後の予定	令和2年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施（令和2年度の河川事業実施状況を踏まえた見直し等）	R4年度			令和4年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施（堤防点検結果や陸閘の適正化に伴う廃止等）	R6年度～																									
	・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	実施状況	保有する水防資機材の状況を平時管理し、必要に応じて補充を実施	R2年度			定期的に各水防倉庫における水防資機材の備蓄状況を確認し、不足等が生じれば適宜補充を行っている	H29年度～	水防倉庫の資機材点検、補充 町内会への備蓄土と土のう袋提供 ～自作用～のための配布	R4年度	消防施設の整備や、自主防災組織の資機材の整備補助	R5年度	実施済み 避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	R2年度	消防団のライフジャケットの整備 町内会への土のう袋の配布 土のう作製	H29年度～	市の職員を中心に水防資機材の確認、資機材を使った水防訓練を行った	H30年度 R3年度～	消防施設整備や、自主防災活動の補助金 可搬式排水ポンプの整備	～R2年度	和気町備蓄計画」に基づき、水防資材の購入・配備	H30年度	自前を推進するための非常時持出袋を1世帯1個配布 水防資機材の計画的整備 自主防災組織に対する資機材の補助	R5年度	資材確認実施 町民への土のう袋・真砂土の配布 土のう作製	R2年度						
		今後の予定	継続実施	継続実施			現在の取り組みを継続	継続実施	継続実施	R5年度	継続実施	継続実施	不足した資材確保の継続実施	継続実施	適宜不足分や追加分の補充等を継続している	継続実施	不足した資材確保の継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標数が揃うまで実施予定	継続実施	防災資機材の整備 自主防災組織に対する資機材の補助	継続実施	継続実施	継続実施						
	・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計や重水標、CCTVカメラの設置	実施状況	危機管理型水位計（3水系で32箇所） ～令和元年度 ～危機型河川監視カメラ（3水系で94箇所）設置済	～R2年度			<危機管理型水位計等の増設> 平成30年度～令和3年度までに37箇所増設（吉井川水系 30箇所、旭川水系 12箇所、高梁川水系 19箇所、その他 36箇所） 〈重水標〉 水位計に合わせて設置 〈河川監視カメラの増設〉 令和元、2年度で67箇所増設 （吉井川水系 18箇所、旭川水系 19箇所、高梁川水系 14箇所、その他 16箇所）	～R2年度							実施済み	H30年度			河川監視カメラ19台運用中	H21年度					運用中2箇所	R2年度	町内に県管理のCCTVカメラ1カ所増設	R2年度			R元年度に河川カメラの更新、新設（更新10カ所、新設5カ所） カメラデータについては、みさきTVデータ放送で、静止画像、ライブ配信 美咲町HPでも情報提供	～R1年度		
		今後の予定	整備済	整備済			<水位計・カメラ> 更なる増設については、水防活動や避難判断等において必要性が生じれば検討を行う	継続実施											継続実施	継続実施					継続	継続実施	継続	継続実施			継続	継続実施
	・河川管理者と道路管理者が協力し、堤防を活用した避難階段を整備	実施状況	河川・道路管理者が連携し避難階段を整備	H29年度～																													
		今後の予定	地域住民からの要望を踏まえて、検討を実施	H29年度～																													
	・ダム再生の推進（操作規則の再検討、治水機能の増強の検討）	実施状況	令和2年5月27日治水協定を締結済 令和3年11月30日ダム（洪水調節機能部会を設立済	R2年度～			操作規則等の点検を実施し、必要ならダムについては、令和3年4月に、操作規則策を変更	～R3年度																									
		今後の予定	引き続き洪水調節機能の強化に向けて取組を推進	継続実施			引き続き、適正なダム運用となるよう、適時、操作規則等の見直しを図る	継続実施																									
	・越門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保	実施状況	令和3年度出水期前に実施した「洪水予報連絡会・水防連絡会」にて、越門の操作・管理・連絡体制に関する情報提供を実施済	R3年度～			後作業施者の負担軽減や緊急時の迅速かつ確実なゲート閉鎖等を目的とし、無動力化（フラップゲート化）を実施	R3年度																									
		今後の予定	継続実施	継続実施			今後も越門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保のため、関係機関との連携を図るとともに無動力化（フラップゲート化）を拡大	継続実施																									
	・河川管理の高度化の検討（陸上・水中ドローンや全天候型ドローン）	実施状況	ドローンを活用した堤防・護岸等の点検可能箇所の検討を実施	R3年度～			先行事例の情報収集等	R4年度																									
		今後の予定	点検可能箇所の検討を継続実施	R3年度～			引き続き、先行事例の情報収集・研究に努める	継続実施																									
	・内水の排水活動に資する基盤等の整備	実施状況					湛水の現況状況、流下能力、土地利用状況などを踏まえながら、緊急性や必要性の高い箇所から推進 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施	発災後から随時（または非出水期）	平成30年豪雨で大きな被害があった排水区を加えた重点地区において、雨水排水管きょ、ポンプ場の下水道整備を推進 町内会への可搬式ポンプの無償貸与	R4年度																							内水排除活動実施設備の設置 エンジン排水ポンプ　150mm　6基 100mm　6基 一級河川　吉井川沿川での排水排除ポンプの設置10ヶ所、水路等整備1ヶ所計画（下水工事関連）	R3年度 R2～R4年度
		今後の予定					現在の取り組みを継続	継続実施	継続実施	R5年度																					維持管理	継続実施
	・応急的な遊避場所の確保	実施状況	自治体からの要請があれば検討	R3年度			-	-			未実施	R5年度							未実施	R5年度			未実施	R4年度									
		今後の予定	継続実施	R4年度～			-	-			未定	未定							未定	未定			未定	未定									
2)ソフト対策の主な取り組み（①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み																																	
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																																	
	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、応急シミュレーション（吉井川／金剛川）	実施状況	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表済	H29年度																													
		今後の予定	公表済	公表済																													
	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表（岡山県管理区間）	実施状況					洪水予報河川等25河川の洪水浸水想定区域図を公表済（吉井川水系 13河川、旭川水系 4河川、高梁川水系 3河川、その他 5河川） その他中小河川109河川の洪水浸水想定区域図を公表済（吉井川水系 5河川、旭川水系 5河川、高梁川水系 91河川、その他水系 8河川）	～R4年度																								
		今後の予定					水害リスク情報の空白域を解消するため、令和7年度までにその他中小河川の洪水浸水想定区域図を順次作成・公表	R5年度～																									
	・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	実施状況	幹事会で広域避難の協定事例を構成機関へ共有済	R2年度	作成に必要な情報の提供および策定を支援	H28年度	広域避難に関する協定のひな形作成し、市町村に提供している	R1年度～	未実施	R3年度	検討中	R5年度	未実施	R2年度	未実施	～R5年度	検討中	R1年度～			未実施	H30年度			未実施	R5年度					未実施	R3以降
		今後の予定	広域避難計画の作成、広域避難体制の構築に向けて、情報共有を実施	R4年度～	未定	R5年度～	広域避難を検討する市町村に対し必要な情報提供を行う	継続実施	「岡山県災害時相互協定」と整合をとりながら策定、検討	継続実施	検討を継続	R6年度	未定	未定	未定	R6年度～	検討を継続	R6年度			未定	～R4年度			未定	未定					広域的な避難の検討	R4以降
	・避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるごとまちごとハザードマップ整備	実施状況	赤磐市とハザードマップの12作成について相談対応	R3年度			洪水予報河川等25河川の洪水浸水想定区域図を関係市町に提供済 その他中小河川109河川の洪水浸水想定区域図を関係市町に提供済	～R5年度	広域避難計画策定後、ハザードマップの作成を検討	H29年度～R4年度	ハザードマップの更新・作成を予定	R5年度	広域避難計画策定については、本実施だが、ハザードマップを年度内に更新	R3年度	広域避難計画策定後、ハザードマップを作成、整備 ハザードマップの更新、指定緊急避難場所及び指定避難所について対象とする異常な事象や指定の重複、用途を整理	H29年度～ R1年度	検討中 ハザードマップを更新	R1年度～ R4年度			未実施	R4年度			想定最大規模のハザードマップ（洪水・土砂）を作成し、全戸配布、町ホームページにて公表。	R4年度				浸水区域、土砂災害区域の見直し結果を反映したハザードマップの整備し、全戸に配布、また町のHPにも掲載	R4年度
		今後の予定	自治体からの相談に継続対応	R4年度～			水害リスク情報の空白域を解消するため、令和7年度までにその他中小河川の洪水浸水想定区域図を順次作成・提供	R5年度～	広域避難計画策定後、ハザードマップの作成を検討 避難場所の現地確認を行い災害種別に応じた避難経路・場所を検討	継続実施	ハザードマップの配布を予定	R5年度	R4年度において、印刷製本後、全戸に配布	R4年度	最新のる種災害リスクや防災情報を まとめた冊子タイプのハザードマップを全戸配布済み 広域避難計画策定を反映したハザードマップ作成、こんハザードマップ注意喚起	R2年度 R5年度～	検討を継続	継続実施			未定	～R6年度			ハザードマップ（洪水・土砂）の更新、全戸配布、町ホームページでの公表 ハザードマップの活用方法の啓発・周知	未定 R5年度～				浸水区域、土砂災害区域の見直し結果を反映したハザードマップの整備	R6以降
	・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進（全対象施設の避難確保計画作成の達成）	実施状況	避難確保計画作成率向上に向け、協議会等の場を活用し、事例や作成状況の共有を行う	R3年度			対象施設毎の水害リスク（浸水深・浸水継続時間）を調査し、市町村等を通じて施設管理者等に情報提供するとともに、計画作成の講習会に参加を促した	R3年度～R5年度	避難確保計画の策定支援講習会（全実施（4回）	～R4年度	避難確保計画の作成を促進 訓練の促進については要請があった場合にその都度対応	R4年度	対象となるお配慮者利用施設に作成案内を実施 一部施設においては作成済み	R3年度	要配慮者施設において実定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援 避難確保計画の作成・提出を市内の対象全施設に文書にて依頼 約8割の施設が提出済	H29年度～ R3年度	要配慮者利用施設における避難訓練を実施済み 避難確保計画の作成を促進 避難確保計画・避難訓練の実施状況調査	H30年度 R1年度～ R2年度～	要配慮者利用施設の指定 避難確保計画の作成を促進	R4年度	要配慮者施設において実定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援	H29年度 ～			防災計画に定められている施設（7施設）について、作成を促進 防災計画に定められている施設（7施設）について、作成を完了 避難確保計画の見直し、訓練の促進	R2年度 R3年度 R4年度				防災計画に定められている施設について、資料提供意向に取差を行い全ての施設で避難確保計画の作成を行い、適時見直しを行っている	R3
		今後の予定	避難確保計画作成率向上に向け、協議会等の場を活用し、事例や作成状況の共有を行う	継続実施			市町村に計画作成講習会に参加を促すとともに、必要な情報提供を行い計画作成を促進する	継続実施	継続実施	R5年度	継続実施	継続実施	全ての要配慮者利用施設において計画の作成できるよう支援	継続実施	引き続き実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	全て完了するまで実施	継続実施			避難確保計画の見直し、訓練の促進	継続実施				訓練実施の徹発	R4～
	・共助の仕組みの強化（水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有等）	実施状況	大規模広域停電の減災対策協議会に関する情報を市町村の高齢者福祉部局に対して情報提供を行っている	R1年度～			個別避難計画に関する説明会の開催（年4回）	R4年度	市包括支援センターと連携し、小地域ケア会議等での助言、情報共有を実施	R5年度					個別避難計画等の取組を通じて、福祉部局との連携を取り始めている	～R5年度	複数の地区で先行的に計画の作成を実施。	R5年度	福祉部局と協議中	R5年度			要配慮者の個別避難計画について、福祉部局と作成に向けた協議・検討を行った	R3年度	要配慮者の個別避難計画について、福祉部局と作成に向けた協議・検討を行った	R4年度	防災部局及び福祉部局の情報共有を密にすることを担当者間で確認。	R5年度	未実施		R4年度	福祉事務所・社協と連携し、個別避難計画の策定を進めている。	R3～
		今後の予定	継続実施	継続実施			継続実施	継続	個別避難計画に関する説明会の開催	継続実施	継続実施	継続実施	個別避難計画作成に向けた庁内協働体制を構築予定	R5年度～	引き続き実施	継続実施	計画作成地区の拡大、個別避難計画作成に向けた庁内協働体制を構築	継続実施	未定	未定			継続実施	R8年度予定	継続実施	継続実施	個別避難計画の作成等連携を図る。福祉が主催する研修会等に合同で参加する。	継続実施	未定	未定	未定	継続実施	継続実施
	・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	実施状況	ハザードマップポータルサイトにて洪水に係るリスク情報等を公開中	継続実施			おかやま全県統合型GISにより、防災情報の周知に努めている ハザードマップポータルサイトを活用し市町村のハザードマップ周知に努めている	H28年度	未実施 HPに防ハザードマップの普及、利用促進	R4年度 ～R5年度	市ホームページからリンクを継続	R5年度	HPへの市ハザードマップ・岡山県GISがリンクの掲載	R3年度	実施済み	H30年度	市ホームページに県のホームページへのリンクを追加	R3年度	市ホームページからリンクを追加	R3年度	未実施	R4年度			町ホームページからリンクを継続	R2年度～	防災安全、県のホームページへのリンク設定に加え、気象台の「気象及び水害」自治体会員となり降水量・土砂災害の危険度把握能力を向上	R2年度				想定最大規模掲載の防災マップを更新町ホームページに情報HPのリンクWeb版ハザードマップの整備	R3年度
		今後の予定	継続実施	継続実施			防災情報の周知について、積極的な広報に努める 市町村へハザードマップの電子化とポータルサイトへのリンク記載を呼びかける	継続実施	防災情報の周知について積極的な広報に努める	継続実施	継続実施	継続実施	市ハザードマップ更新後、データの更新	R4年度	未定	R5年度～	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	～R6年度			継続	継続実施	継続実施	継続実施		継続実施	継続実施
	・内水の排水活動に資するソフト対策	実施状況							内水ハザードマップを作製、配布、HP掲載、出前講座等での周知	R3年度															内水浸水想定区域図の作成	R5年度					内水排水用のポンプの管理を地元の自治会等へ管理委託し、維持管理に合わせ訓練を行っている	R4年度～
		今後の予定							内水ハザードマップの配布、HP掲載、出前講座等での周知を継続実施	R4年度															ハザードマップ（洪水・土砂）への反映を検討	HR年度～					継続実施	継続実施

資料1-2

進捗管理シート(吉井川)

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		津山市		備前市		瀬戸内市		赤磐市		美作市		和気町		鏡野町		勝央町		奈義町		西粟倉村		美咲町	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
■情報の伝達・発信																																	
	・避難指示の発令に着目したタイムラインの精度向上	実施状況	水系一体のタイムラインの精度向上のため、検討会を複数回実施	継続実施	各自治体の作成支援	H28年度	台風接近時には、気象台が発表する情報を放映会で確実に伝達し、市町村と協働でタイムラインを作成通 タイムライン記載内容や運用について再度確認するよう指知	H30年度	運用に関する検討会やワークショップを実施済み	R1年度	タイムラインの精度向上	R5年度	未実施	R2年度	タイムラインの精度向上	継続実施	台風接近時には、気象台が発表する情報を放映会で確認し、県と協同でタイムラインを作成している	継続実施	台風接近等に合わせその都度検証し作成	R1年度	台風接近時には、気象台が発表する情報を放映会で確認し、県と協同でタイムラインを作成している	H30年度～	高次害に関するタイムラインを作成済 タイムラインの精度向上	～R3年度	台風接近等に合わせ作成	R1年度～	台風タイムラインの作成 (10号、19号(R1)と、R1.10)	R1年度	作成済み	R1年度	市町村の避難指示の発令等に着目した関係者一体型タイムライン(防災行動計画)策定済	R3年度～
		今後の予定	内区(Aサイクル)により改善	継続実施	PDCAサイクルにより改善	R5年度～	水害タイムラインの実験を考慮して市町村の避難勧告型タイムラインの充実を呼びかける	～R3年度	タイムラインの精度向上	継続実施	継続実施	継続実施	タイムラインの精度向上検討 客観的な判断基準等を定めた避難判断伝達のマニュアルの整備	R3年度	避難勧告等発令のガイドラインの見直し	継続実施	早めの避難情報の発令に備える 避難所の早期開設 河川巡視等の報告を災害対策本部会議で共有し、避難情報の発令の判断材料とする	継続実施	継続実施	継続実施	避難指示の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上	～R5年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	作成継続、精度の向上	継続実施	精度向上に向けて改良予定	継続実施	安全な避難確保が行えるようなタイムラインへの見直しを実施	継続実施
	・多種関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用	実施状況	水系一体のタイムラインに拡充済	8元年度	水系一体のタイムラインに拡充済	R元年度	吉井川水害タイムラインの運用・改善	～R3年度	太系全体の自治体も参加する体制に変更した	R1年度	吉井川水害タイムラインの運用	R5年度	吉井川水害タイムライン検討会に参加	R1年度～	吉井川水害タイムライン検討会に参加	R1年度～	吉井川・旭川水害タイムライン検討会に参加	R1年度～	吉井川水害タイムラインの運用	R2年度	実施済み	R2年度	吉井川水害タイムラインの運用	R3年度～	吉井川水害タイムラインの運用	R2年度～	吉井川水害タイムラインの運用	R2年度	吉井川水害タイムラインの運用	R2年度	水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R4年度～
		今後の予定	内区(Aサイクル)改善	継続実施	PDCAサイクルにより改善	R5年度～	継続実施	継続実施	関係機関との連携強化	継続実施	継続実施	継続実施	今後も関係機関との連携を積極的に検討していく	継続実施	今後も関係機関との連携を積極的に検討していく	継続実施	今後も関係機関との連携を積極的に検討していく	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	R3年度～	継続実施	継続実施	継続運用	継続	継続運用	継続実施	継続運用	R4S年度	継続実施	継続実施
	・多種関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	実施状況	令和5年5月27日に令和5年度吉井川総合水防演習を実施（岡山河川事務所長、和気町長、岡山地方気象台長によるホットライン）	R5年度	R5吉井川総合水防演習(5-27)に参加	R5年度	リエゾン(情報連絡員)を市町村に派遣し、水害対応訓練を実施した	R1年度～	実施	R4年度～	未実施	R5年度	備前市総合防災訓練を実施	R5年度	未実施(今年度の市総合防災訓練は地震想定で実施) 岡山県水害対応訓練に参加	R5年度	岡山県水害特別防災訓練に参加して風水害に関する図上訓練を実施 赤磐市総合防災訓練実施 赤磐市水害対応訓練	H30年度 R1年度 R4年度 R5年度	水害を想定した防災訓練の実施	R1年度	岡山県の実施する水害特別訓練へ参加	H30年度～			岡山県水害対応訓練へ参加	R4年度					美咲町防災訓練の実施	R5年度
		今後の予定	未定	未定	今後も訓練があれば積極的に参加	継続実施	引き続き、市町村の実情に応じた避難訓練等と連携した訓練を行う	継続実施	岡山市総合防災訓練を実施予定	R5年度	未定	未定	備前市市総合防災訓練を実施	継続実施	瀬戸内市総合防災訓練を実施予定	R6年度	赤磐市総合防災訓練を実施予定	R6年度	現在、病年で防災訓練を実施しているが、そのなかで水害を想定した防災訓練の実施	数年おきに実施	未定	～R5年度			継続 町総合防災訓練において水害を想定し	継続実施					各種訓練への参加及び訓練	継続実施
	・警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の情報提供開始及びメッシュ情報の充実化（地域に迫る危険の把握をサポート）等水害危険性の周知促進	実施状況	水害リスクライン及び川の防災情報による全切情報の提供、氾濫開始相当水位の提供	R5年度	警報等における危険度の色分け表示情報提供メッシュ情報の充実化	H29年度	水防協議会(R1.5.15)において、水位周知河川の指定区域の変更を公表(1河川) R2.8.6旭川の県管理区間(大臣管理区間上流端～旭川ダム下流)を洪水予報河川に指定 第4回岡山県大規模氾監減災協議会(H30.5.16)において、全市町村に浸水実績等の資料を提供 現行基準水位の運用等について、関係市町村にアンケート調査を実施 笹ヶ瀬、足守川流水予報河川の基準水位の見直し検討(R3) 高梁川水系や田川の基準水位の見直し検討実施中	～R5年度																														
		今後の予定	継続実施	継続実施	水害リスクライン及び水キキクルの気象庁ホームページでの統合表示(R5年2月16日)	R4年度～	現行基準水位の見直しを引き続き検討 洪水予報河川、水位周知河川の新規指定を検討	継続実施																										
	・危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理、洪水予警報や水位周知情報の発表形式の見直し等を行う	実施状況	災害対策基本法の改正に伴う新たな避難情報及び8時間先の水位予測を踏まえた洪水予警報発令及び発表形式の見直しの実施	見直し済	洪水警報、注意報の基準変更と、洪水予警報の細目協定及び実施要領の改正	R3年度	令和元年度、水位周知情報(氾監警戒情報、氾監危険情報)の通知様式に警戒レベル相当や水位状況のポンチ絵を追記するなど見直しを行った 課題が生じた場合は、必要に応じて更なる見直しを検討する	R1年度～																												
		今後の予定	必要に応じて見直しを行う	継続実施	必要に応じて見直しを行う	継続実施	現在の取り組みを継続	継続実施																									
	・洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの適切な運用)	実施状況	ホットライン構築済	構築済			H30年度出水期前にホットラインを構築、R1年度出水期前に内容を拡充してきており、対象河川について、ホットラインによる情報提供を行っている	～R5年度	ホットライン構築済み	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済み	R1年度	ホットライン構築済	R1年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	R2年度～R3年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットラインは構築済	H30年度～
		今後の予定	継続実施	継続実施			今後も引き続き、ホットラインによる情報提供を行う	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	毎年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
	・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の情報発信	実施状況	スマートフォン等によるプッシュ型洪水情報発信の実施	2年度	危険度の高まりのプッシュ型サービスを5つの政策事業と協力して実施	R元年度	登録制防災情報メールで、気象情報や水位情報、指定河川洪水予報を発信	R1年度	防災メールの普及を推進 LINEによる防災情報の配信を開始	H30年度	随時、市災害情報メールへの登録の呼び掛けを実施するとともに、発信手段を増やした	R5年度	登録型防災メール、スマホアプリの普及啓発実施済み	R2年度	実施済み	H28年度～	出前講座など、地区住民を対象に登録型防災メールの普及啓発実施	H28年度～	登録型防災メール、アプリの活用	R1年度	実施済み	H29年度～	登録制メール配信事業の啓発継続 登録制メール配信システム改化見直しラインの配信追加	R1年度 R2年度 R3年度 R4年度	登録型防災メール・アプリの普及啓発継続	R2年度					登録制メールの普及 エリアメール登録	R2年度
		今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	防災情報メールや防災アプリの登録者数を増やす取組を引き続き実施する	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施			引き続き実施	継続実施	防災アプリの導入を検討	R6年度	普及促進	毎年度	スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の配信	～R2年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施					継続実施及び再検討	継続
	・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況	危機管理型水位計（3水系で32箇所）や簡易型河川監視カメラ（3水系で54箇所）に情報をリアルタイムで提供中	8z年度			水位計を18箇所、河川監視カメラを77箇所設置し、「おかやま防災ポータル」等で、水位・河川監視カメラ画像などの情報を提供	～R5年度							実施済み	H28年度～			水位計10台、河川監視カメラ19台 市HP、アプリ、CATVデータ放送で配信				雨量等観測データ及び河川監視カメラ映像を町ホームページ、有線テレビで公開 現在河川監視カメラ10台設置中	～R3年度	町内2箇所に河川監視カメラを設置し HPで映像公開	R2年度								
		今後の予定	継続実施	継続実施			更なる確認については、水防活動や避難判断等において必要性が生じれば検討を行う	継続実施							引き続き実施	継続実施			継続実施	毎年度			河川監視カメラ機器メンテナンス継続	R3年度～	継続実施	継続実施								
	・メディア連携分科会を設置し、メディア連携施策のフォローアップ	実施状況	岡山河川事務所公式Twitterを開設	3元年度	—	—																											
		今後の予定	継続的な情報発信	継続実施	—	—																											
	・SNSの活用	実施状況	Twitterを活用した防災情報発信	2z年度	未実施	R3年度	防災気象情報等を×(旧ツイッター)を活用してCC配信	H27年度～	LINE、Twitter、Facebookを活用した防災情報の伝達	R4年度	市Facebook・LINEにて災害情報を配信	R5年度	防災情報を市公式LINEで発信	不明									町Facebook・Twitterにて災害情報を配信	R3年度	ラインによる防災、避難情報の通知	～R3年度	未実施	R4年度	情報企画新局と連携を図る。 町広報紙等で防災情報の発信。	R5年度			美咲町公式ラインによる防災情報のお知らせを行う	R5年度
		今後の予定	継続的な情報発信	継続実施	方針が決まれば積極的に活用	継続実施	現在の取組を継続	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き実施	継続実施									継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	未定	未定	継続実施。				継続実施	
	・水害リスクラインによる情報発信	実施状況	R元年から運用開始。	継続実施																													
		今後の予定	気象庁危険度分布と統合し、直轄河川管理区間部分のリスクライン表示等を行う。	R4年度																													
■防災教育や防災知識の普及																																	
	・水防災に関する講習会や出前講座を複数回実施	実施状況	水防災に関する講習会や出前講座を複数回実施	8z年度	自治体や自主防災組織などへの講演を複数回行った	H28年度	地域での研修等を利用し、防災知識の普及啓発発活動を実施	H29年度～	—	—	自主防災組織や各種団体の会合において出前講座等を実施	R5年度	水防災に関する防災訓練、出前講座を活用した講習会の開催実施済み、特に自主避難体制の強化を図る内容とした	R2年度	水防災に係る出前講座を市内各地で実施	～R5年度	出前講座を実施 非常食の体験試食を実施	R1年度～	各団体からの要請により実施	R1年度	実施済み 町内イベントに防災ブースを出展 出前講座を実施	H29年度～	防災イベントの開催	～R5年度	消防団と連携し、中学校で防災に関する講座を実施 自主防災組織を対象に地区防災計画の取り組みに関する講習会を実施	R3年度～					自治会、ケア会議等での出前講座などを実施	R4年度～
		今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き、地域での研修等を活用し、防災知識の普及啓発発活動を実施する	継続実施	—	—	継続実施	継続実施	水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催を継続 自主避難体制の強化	継続実施	引き続き実施	継続実施	引き続き出前講座などで市民に対して啓発を行う	継続実施	継続実施	毎年度	実施予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施					継続実施	継続実施
	・住民一人一人の避難計画(マイ・タイムライン)の普及促進	実施状況	マイ・タイムライン検討ツール「活ガキッド」を作成済	8元年度			講習会や広報の機会を捉えて、マイタイムラインの紹介を行った	R1年度～	出前講座等において啓発	R4年度	津山市版マイタイムラインを作成し、市ホームページ掲載、防災講話等で普及促進	R5年度	ハザードマップにてマイタイムラインの取組み紹介	R4年度	出前講座等を利用し、普及啓発活動を行う	～R5年度					出前講座などを実施	R3年度～	ハザードマップを更新し合わせて掲載 各戸別配布、ホームページ等により周知し、避難計画作成を勧奨	R5年度	ハザードマップ(洪水・土砂)に掲載 ホームページ、広報紙掲載等により周知し、作成を促進	R4年度					地域自主防災組織を中心に啓発を実施	R3～
		今後の予定	意識調査につなげるため、講習会等を実施	継続実施			講習会や広報の機会を捉えて、マイタイムラインの紹介を行う	継続実施	継続	継続実施	継続実施	継続実施	マイタイムラインの取組み普及	継続実施	引き続き実施	継続実施							継続実施	継続実施	出水期及び台風時期に啓発活動を実施	継続実施	継続実施	継続実施					継続実施	継続実施
	・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	小学生を対象とした防災教育を実施	2z年度	高校・中学校及び小学校で発達段階に合わせた防災講演を複数回行った	H28年度	小学校の低・中・高学年それぞれの発達段階に合わせた「防災ワークシート」を作成して南内小学校に配布し防災教育の促進に努めた 防災ワークシートは電子データ化し、県のホームページで公開	R1年度	市立学校への学校安全アドバイザー派遣を実施	R4年度	市内小学校が実施する地域学習において、防災に関する講座、施設見学、防災教育を実施済	R5年度	幼稚園、保育園、小学生、中学生を対象とした防災訓練への参加済み	R2年度	教職員を対象とした防災研修の実施、小学生を対象とした防災授業の実施	H29年度～～R4年度	キラリ安全ファスティバルを開催し、気象台にも参加いただき、気象台ブースで啓発を行っていただいた 防災授業を小学校で実施	H28年度～R1年度 R2年度～	実施済み	R1年度	小中学校で防災に関する授業を実施済み	H29年度～	教員を対象に実施(1回) 小学校等出張防災講座の開催	R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度	教育部局と連携し教職員への防災研修	R2年度 R3年度					中学校区での危険箇所の把握及び非常時の訓練など 小学生を対象とした、消防団による防災教育などを実施	R3年度～
		今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	防災ワークシートの電子データをホームページに公開	継続実施	継続	継続実施	継続実施	継続実施	防災教育の実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	防災授業を引き続き実施	継続実施	引き続き実施	毎年度	引き続き実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施					継続実施	随時
	・地域内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況	小学生を対象とした防災カードゲームの普及及び防災動画の視聴	3z年度																													
		今後の予定	継続実施	継続実施																													
	・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	実施状況	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	継続実施	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	H28年度	HPや広報誌、ポスター、チラシ、ラジオ、新聞広告による災害情報の広報・周知を行った。 令和3年度7月にももたろうの防災」の改訂を行い、住民向け広報を強化した	H30年度～	出前講座等を利用し、防災知識の普及啓発活動を行う	R4年度	広報紙への特集記事の掲載を実施 防災出前講座等により、防災知識の普及啓発発活動を行った	R5年度	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知実施済み	R2年度	出前講座等を利用し、防災知識の普及啓発発活動を行う	H29年度～～R4年度	地区防災マップを作成済み 広報への特集記事を掲載 出前講座を実施	H29年度～	出前講座、広報紙へ特集記事の掲載 CATVで啓発	R1年度	出前講座等を利用し、防災知識の普及啓発発活動を行う	H29年度～	出張出前講座の実施	～R5年度	ポスター掲示	R1年度～	ポスター掲示	R2年度	ポスター掲示	R2年度	ポスターの掲示 広報誌での啓もう活動	R4年度-
		今後の予定	継続実施	継続実施	吉井川総合水防演習(5/27)の展示ブースにてパネル展示やパンフレット配布予定	R5年度	引き続きあらゆる機会を捉え積極的な広報に努める	継続実施	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	実施予定	～R2年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	ポスター掲示	継続実施	継続実施	継続
	・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	実施状況					防災教育教材「おかやま語災手帳」を作成し、地元小・中学生や高校生を対象に講演会や訓練等を実施	R1年度	未実施 平成30年7月豪雨災害記録誌を作成	R2年度	防災講座等で過去の災害を紹介	R5年度	未実施	R2年度	市総合防災訓練への参加を出前講座等を通じて啓発している	継続実施	出前講座で過去の災害を紹介	R3年度～	防災講話等で過去の災害を紹介	R1年度	町内イベントに防災ブースを出展	H29年度～	過去の災害箇所の石碑を自然災害伝承碑に登録	R1年度 R2年度	自主防災組織等と連携した訓練実施	R4年度	防災訓練の実施(R4.11) 水害記録碑の登録(三穂神社)	R4年度	コロナ禍を受けて今日はおうちで防災訓練！」を実施防災訓練期間に合わせ、中央公民館に防災特設コーナーを設置(関連書籍や防災グッズ展示、来場者が自由に書き込め(1年成30年7月豪雨一礼の記憶一)設置等)	R2年度	美咲町防災訓練にて、内水排水対策に、ゲートポンプの稼働訓練の実施などと、吉井川沿いの内水排水対策を実施	R4年度
		今後の予定					継続実施	継続実施	特に予定なし		継続実施	継続実施	未定		引き続き実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	毎年度	水辺の楽校等での展示を検討	R2年度～	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	防災訓練の実施(R.11)	R5年度	総合防災訓練にて河川災害も想定した訓練を検討中	R5年度	地域での防災訓練や学習会での地域での災害の継承を陸神	継続
	・不動産関連事業者への水害リスクの情報提供等	実施状況	事業者からの問い合わせに対応	R3年度	問い合わせ等があれば対応	R5年度	HPに掲載し情報提供	R4年度	事業者からの問い合わせに対応	R5年度	市HPへの市ハザードマップ・岡山県GIS掲載	R4年度	問い合わせがあった場合、陸神情報提供を行っている	～5年度	市防災マップの情報を提供	R3年度～	事業者からの問い合わせに対応	R4年度	ハザードマップの提供	R3年度～	ハザードマップの提供	R3年度	事業者からの問い合わせに対応 ハザードマップ(HP)の案内	R4年度	ハザードマップの提供	R4年度	問い合わせ等があった場合にハザードマップ等を手交。	R5年度	未実施	R4年度	ハザードマップの提供	R4年度
		今後の予定	継続実施	継続実施			継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	市ハザードマップ更新後、データの更新	R4年度	引き続き実施	継続実施	継続実施	継続実施	未定	未定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施。	継続実施	未定	未定	継続実施	継続
2)ソフト対策のさらなる取り組み　①未曾有とも言える大雨を一日も早く解消するための緊急対策																																	
■緊急対策の実施等の実施及び大型防災機能の強化																																	
	・水防団(水防活動を担う消防団を含む)等が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	実施状況	令和3年出水期前に水防団と合同で重要水防箇所の点検を実施済	2z年度	未実施	R3年度			実施済み	R1年度			河川事務所が実施する共同点検に参加	H29年度～	河川事務所が実施する共同点検に参加	H29年度～	河川事務所が実施する共同点検に参加	H29年度～			河川事務所が実施する共同点検に参加	H29年度～	定期的に消防団による町内巡回に合わせて巡視を実施	R4年度								
		今後の予定	継続実施	継続実施	実施があれば積極的に参加	継続実施			継続実施	継続実施			河川事務所が実施する共同点検に参加	～R2年度	未定	R5年度～	未定	～R6年度			河川事務所が実施する共同点検に参加	～R4年度	継続実施	継続実施								
	・関係機関が連携し新型コロナウイルスを踏まえた(R3年度～)実働水防訓練の実施	実施状況	令和5年5月27日に令和5年度吉井川総合水防演習を開催 （令和5年5月20日に水防技術講習会開催）	R5年度	R5吉井川総合水防演習(5/27)に参加	R5年度	関係機関の連携による県水害対応訓練(図上・実働訓練)および水防技術向上に資する岡山県水防技術講習会を実施した				未実施		実施済み	H28年度～	未実施(今年度の市総合防災訓練は地震想定で実施) 岡山県水害対応訓練に参加	R5年度	市の職員を中心に資機材を使った水防訓練を実施 岡山県水害特別防災訓練に参加して市図上訓練、自主防災組織実動訓練実施 岡山県水害対応訓練に参加 赤磐市総合防災訓練を実施	H30年度～ R1年度 R3年度 R4年度	隣年で総合防災訓練を開催	隣年	新型コロナの影響のため、未実施	R3年度	隣年で総合防災訓練を開催	未実施	地区防災計画策定に当たり地区、消防団等と連携し防災重点ため地等の確認、とのうち成訓練実施 未実施 総合防災訓練を実施	R2年度 R3年度 R4年度	未実施	R1年度			岡山県水害対応訓練を地元の旭岡地区と連携し実施(R4) 県田栄之区自治会と連携し美咲町防災訓練を実施(R5)	R4年度～
		今後の予定	水防技術講習会を開催予定	8z年度	水防演習や各自治体の訓練に積極的に参加	継続実施	出水期前に訓練を実施し、風水害に対する応急対応の向上を図るとともに、水防技術講習会を実施し、水防に関する技術力の向上を促進する。	継続実施	継続実施	R6年度	訓練実施予定	R6年度	関係機関が行う水防訓練へ参加	継続実施	瀬戸内市総合防災訓練を実施予定	R6年度	吉井川総合水防演習への参加	R5年度	総合防災訓練を実施予定	R3年度	実施予定	継続実施	吉井川総合水防演習に参加	継続実施	継続実施	継続実施	新型コロナウイルス感染症5類移行により実施しない。 —				継続実施	継続
	・水防活動の担い手となる水防団(水防活動を担う消防団を含む)員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実(水防活動を担う消防団を含む)積極に係る取組)	実施状況	岡山河川事務所HPに水防団員を募集している旨の記事を掲載済	継続実施					実施済み	H30年度	実施済み	R5年度	実施済み	H28年度～	実施済み	～R4年度	実施済み	H28年度～	実施済	R1年度	実施済み	H28年度～			ポスター掲示	R2年度～	消防団と連携 水防月間ポスターの掲示等による広報を実施	R1年度			消防団員による募集活動	継続
		今後の予定	継続実施	継続実施					継続実施	継続実施	市ホームページや広報誌等、団員による勧誘で募集していく	継続実施	市ホームページや広報誌等、団員による勧誘で募集していく	継続実施	引き続き実施	継続実施	市ホームページや広報誌等で募集していく	継続実施	主に団員や学校を通じて広報	継続実施	今後もホームページや広報誌等で募集を継続する		継続		継続実施	継続実施		継続実施			継続実施	継続
	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	実施状況	災害拠点病院の洪水対策検討会にオブザーバーとして参加し、技術的助言を行った	2z年度			市町村が適切な災害対応を行えるよう、業務継続計画(BCP)の作成や災害時の受援体制の整備を働きかけた	R3年度～	未実施 市役所本庁舎、保健福祉会館、各区役所に非常用発電等の整備を実施	R3年度～R5年度	パラートとの自動連携を継続している 無線配布及びメールへの登録呼びかけを継続している 自家発電機やバッテリーを整備済	R5年度	市新庁舎建設に伴い耐水化、非常用発電等の整備を実施	R2年度	未実施	～R4年度	未実施	R5年度			役場本庁舎への非常用発電設備設置(72時間、ディーゼル方式)	R3年度			職員情報共有アプリの導入・運用 非常用発電機は設置済みであるが、72時間稼働には未対応	R4年度					非常用発電機の整備	R3年度
		今後の予定	引き続き、技術的助言を行う	継続実施			引き続き業務継続計画(BCP)の作成、受援体制の整備を働きかける	継続実施	浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有	継続実施	実施済み	—	実施済み		未定	R6年度～	庁舎改修に伴い非常用電源設備等の改修を行う。	～R7年度			実施済み	—			庁舎の長寿命化に合わせて非常用発電機の72時間対応化を検討	～R1年度					維持管理の啓発	継続実施
	・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施状況	地域の建設業者による水防支援体制構築済	継続実施					協定内容の確認を行い、内容に修正等が必要な場合は協議し修正する	H30年度	岡山県建設業協会津山支部等と協定締結	H26年度	地域の建設業協会と協定締結	H21年度	地域の様々な業者等と災害時の協定を締結(R5年度は6件)	～R5年度	出前講座を実施 非常食の体験試食を実施	R1年度～	各団体からの要請により実施	R1年度	実施済み 町内イベントに防災ブースを出展 出前講座を実施	H29年度～	防災イベントの開催	～R5年度	岡山県建設業協会美作支部との間で協定締結し支援体制構築済	R2年度	岡山県建設業協会美作支部と協定締結				建設業協会等との防災協定	継続
		今後の予定	継続実施	継続実施				継続実施	継続実施	継続実施	関係部局と内容について確認し、必要があれば協定の修正を行う	R5年度	関係部局と協議し、内容の見直し等は都度行う	継続実施	必要に応じて見直し、新規締結等を行う	継続実施	赤磐市総合防災訓練の中で実施予定	R6年度	今後も引き続き、新たな支援団体があれば協議、検討していく	継続実施	必要に応じて見直しを行う	継続実施	継続実施	継続実施	R2年度までに実施済みのため、今後は実施予定なし	—	R2年度までに実施済みのため、今後は実施予定なし	—			継続実施	継続
2)ソフト対策のさらなる取り組み　②長期化する浸水一日も早く解消するための緊急対策																																	
■緊急対策(案)の作成および排水訓練の実施																																	
	・排水機場・樋門・水門等の情報共有(連絡体制など)を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況	作成した排水計画を関係市町村と共有し、関係市町に送付済	2z年度			H30.7月豪雨時のポンプ稼働状況について、関係市町村に調査を行い、一部の施設で操作規則が作成された	R元年度	国が作成する計画の情報を共有	R4年度	消防団と連携し、東西の班ごとに分かれて操作訓練を実施	R5年度	未実施	～R4年度	未実施	～R5年度	未実施	R3年度	未実施	R5年度	未実施	R4年度			水防団(消防団)による重要水防箇所の確認及び点検を実施	R4年度					美咲町防災訓練にて、藤原排水機場の開閉訓練を実施(R4) 地元自治会による訓練(通年)	R4年度～
		今後の予定	作成した排水計画を基にした訓練の実施	継続実施			必要な対策を関係市町村と協議しながら検討を進める	継続実施	継続実施	R5年度	継続実施	R6年度	未定	～R5年度	未定	R6年度～	未定	～R5年度	未定	未定	未定	未定			継続	継続実施					地元自治会による訓練を継続実施	継続